

～語り部と歩く1200年～



古代より連なる政庁街の系譜、滋野を往く

～京都府庁旧本館から聖アグネス教会、護王神社まで～

この地域は平安期、大内裏に近接する官衙町で、しばしば里内裏となった貴族の高級邸宅地が並び、王朝政治の舞台でした。室町期の戦乱により武家の陣所へと変貌。武衛陣が足利義輝の御所となり、更に織田信長によって改築され、最後の将軍・義昭の御所となります。江戸期には特権の御用町人が数多く軒を並べ、幕末期に設置された京都守護職邸の跡地に、明治期京都府庁が竣工。現在も周辺に官公庁街が広がります。古代より連なる政治の舞台、滋野学区を歩きます。

①京都府庁旧本館

明治37年(1904)竣工。現役で使用されている日本最古の官公庁建物です。京都府技師、松室重光設計の後期ルネサンス様式で、「芸術」「技巧」「巧みさ」「離れない結び目」などが花言葉のアカンサスが装飾のモチーフとされています。中庭は七代目小川治兵衛が作庭、中央のしだれ桜は、円山公園のその孫にあたります。大正期後半までは、府県庁舎の典型として模範にされました。幕末期ここは京都守護職屋敷の敷地で、明治初期には京都慶應義塾が設置されたこともあります。

②茶屋四郎次郎邸址

江戸時代初期に、朱印船貿易や糸割符(糸生の独占的輸入・販売権)貿易で財を成した、徳川家御用達の豪商です。代々四郎次郎と称し、角倉、後藤と並び京都三長者といわれました。徳川家康の京都宿舎ともされた新町通蛸薬師下る百足屋町の本邸が、宝永5年(1708)の大火で焼け、この地に移転しました。茶屋染めと呼ばれる帷子の染色技法を創案したともいい、江戸時代初期から中期にかけて栄えます。この付近の茶屋町という町名は、この邸宅に因むものです。

③滋野井

平安時代初期、儒者滋野貞主が住所を定め、古今の文書を収集・分類し「秘府略」を撰したところといわれています。その後、比類なき蹴鞠の名人「蹴聖」と呼ばれた藤原成通がこの地を所有、滋野井と号しました。成通が教えた藤原頼輔から、蹴鞠の二大流派、難波・飛鳥井両家が生まれています。滋野井は都下七名水のひとつとして知られ、千家などの井戸と同じ水脈を汲んでいると思われる。

④ 斯波氏武衛陣・足利義輝邸遺址

室町幕府を補佐する三管領(斯波・細川・畠山)の筆頭、斯波氏の邸宅があったところです。「武衛」とは斯波氏の役職、兵衛府の唐名で、陣は屋敷のこと。町名の武衛陣町はこのことに因みます。室町幕府第13代将軍足利義輝がこを住まいとしました。永禄8年(1565)松永久秀らに攻められて焼失しました。

⑤ 旧二条城

永禄12年(1569)、武衛陣の跡を拡張し城郭様式にして、織田信長が第15代將軍足利義昭に与えた御所です。築城の様子がルイス・フロイスによりポルトガルに報告され、異国の書物で確認できる貴重な資料になっています。義昭が信長により追放されたあと、取り壊されました。築城にあたり石垣の石を急いで洛中洛外から集めたため、石臼や石仏まで組み込まれたとされます。地下鉄工事により掘り出された石仏が、洛西竹林公園に保存されています。

⑧護王神社

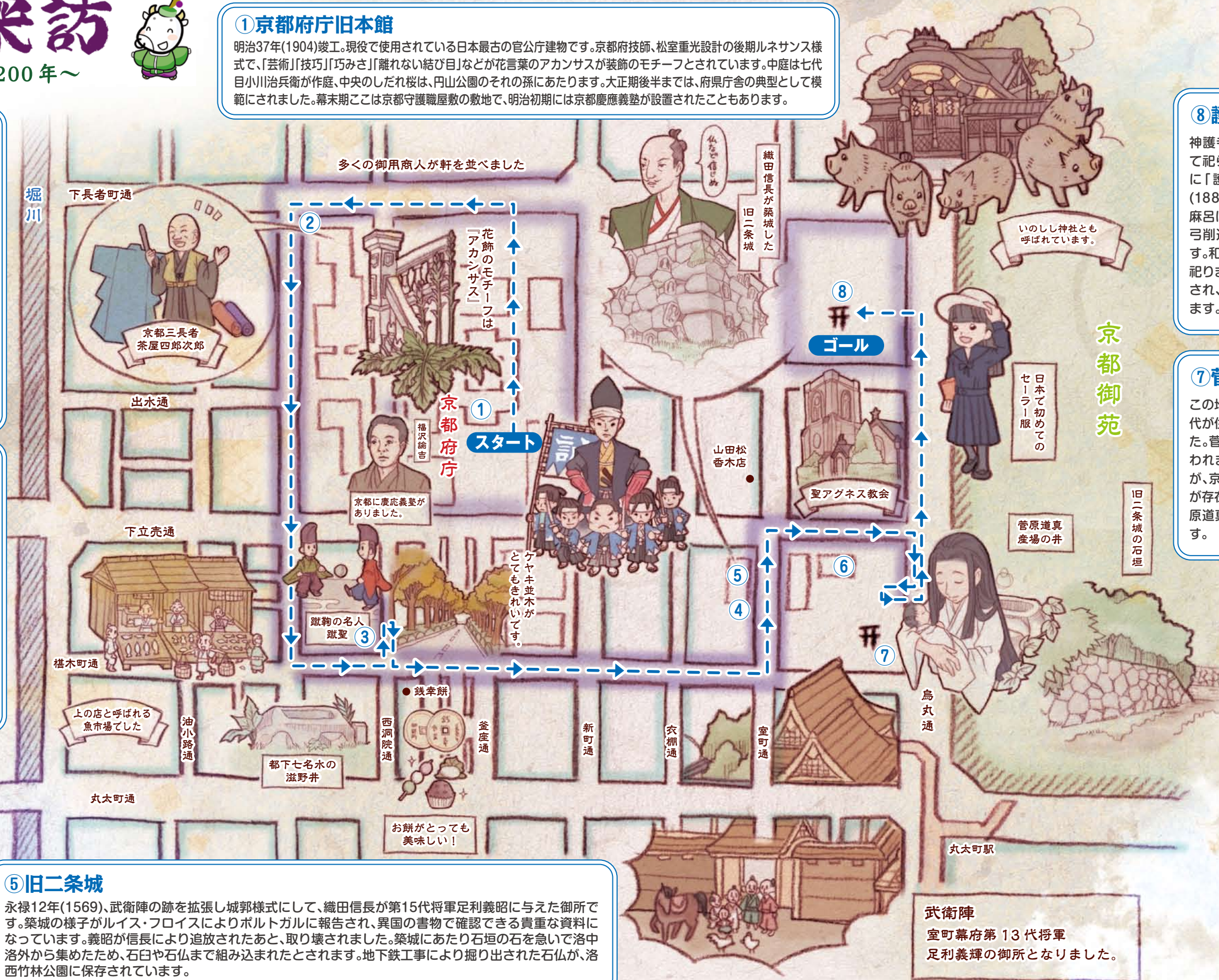
神護寺の境内に和氣清麻呂の靈社として祀られていたものを、明治7年(1874)に「護王神社」と改称し、明治19年(1886)現在の地に移りました。和氣清麻呂は平安京造営時の長官として、また弓削道鏡の事件の解決者として有名です。和氣清麻呂と姉の広虫を祭神として祀ります。「狛いのしし」が入口に奉納され、足腰の神様として信仰を集めています。

⑦菅原院天満宮

この地に菅原道真の曾祖父、祖父、父の三代が住まいした屋敷「菅原院」がありました。菅原道真はこの邸宅で誕生したといわれます。「産湯の井」が残されていますが、京都では他にも誕生伝説のある神社が存在し、謎とされています。境内には菅原道真遺愛の石燈籠や、牛の像があります。

⑥平安女学院

明治8年(1875)、エレン・ガードロッド・エディが大阪の川口居留地に開いた女学校が始まりです。「照暗女学校」への校名変更を経て、明治28年(1895)京都に移転。「平安女学院」と校名を改め、現在に至ります。当時の校舎「明治館」は、アレクサンダー・ネルソン・ハンセルの設計で、19世紀イギリスで流行した「アン王女様式」が採用されています。他にも職員・生徒用のチャペル「聖アグネス教会」、有栖川宮家の旧邸「有栖館」など、伝統的な建築物が並びます。女子生徒用の制服にセーラー服を日本で初めて採用したことで知られています。



スタート地点の最寄りの駅・・・「丸太町」
地下鉄「丸太町駅」下車，2番出入口から徒歩10分

【注意事項】 このマップは、まち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。
【主催】 京都市上京区役所 【共催】 まいまい京都 <http://www.maimai-kyoto.jp/> 【発行】 京都市上京区役所区民部総務課 京都市印刷所 第224675号 【お問い合わせ】 京都市上京区役所区民部総務課 電話：075-441-5029

